

# 山本健吉

\* 明治40年4月26日 長崎市生まれ

\* 昭和63年5月7日 没（81歳）



## ○ 略歴

- 昭和8年 改造社に入社、「俳句研究」の編集に従事  
(26歳)
- 昭和14年 同人誌「批評」を創刊  
(32歳)
- 昭和18年 第一評論集「私小説作家論」を刊行  
(36歳)
- 昭和30年 「古典と現代文学」「芭蕉 - その鑑賞と批評」などで  
(48歳) 評論家としての地位を確立
- 昭和42年 明治大学教授となり大学及び大学院で教える  
(60歳)
- 昭和44年 日本藝術院会員に選出される  
(62歳)
- 昭和47年 日本文芸家協会理事長（昭59 会長）  
(65歳)
- 昭和59年 長崎諏訪神社に文学碑（設計 舟越保武氏）  
(77歳)
- 昭和63年 南島原市・原城文化センター前に句碑建立  
(81歳)
- 平成7年 父（石橋忍月）の出身地八女市に健吉の遺品を集めた  
『山本健吉・夢中落花文庫』が開設

## ○ 主な受賞歴

- |       |            |               |
|-------|------------|---------------|
| 昭和24年 | 第1回戸川秋骨賞   | 「美しき鎮魂歌」      |
| 昭和30年 | 第2回新潮社文学賞  | 「芭蕉」          |
| 昭和31年 | 第7回読売文学賞   | 「古典と現代文学」     |
| 昭和38年 | 第14回読売文学賞  | 「柿本人麻呂」       |
| 昭和41年 | 第22回藝術院賞   | 長年の評論活動に対し。   |
| 昭和48年 | 第24回読売文学賞  | 「最新俳句歳時記 全五巻」 |
| 昭和54年 | 第11回日本文学大賞 | 「詩の自覚の歴史」     |
| 昭和56年 | 第34回野間文芸賞  | 「いのちとかたち」     |
| 昭和58年 | 文化勲章       |               |

## ○ その他の代表作

現代俳句(昭26)、きりしたん事始(昭31)、大伴家持(昭46)  
漱石・啄木・露伴(昭47)、釈迢空(昭47)、正宗白鳥(昭50)  
小さな肖像画(昭59)、山本健吉俳句読本全五巻(平6)